

三国小学校の児童がコンクールで全国表彰を受けました！

三国小学校の児童が2つのコンクールで全国表彰を受けました。

1つめは、12月4日、社会福祉法人日本肢体不自由児協会の「肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展」で、三国小学校3年の山下優希さんが「川で冷やしたなすとかぼす（絵画）」で全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会賞を受賞し、常陸宮殿下から表彰されました。この作品は、3月5日（月）～11日（日）に、アクロス福岡1階コミュニケーションエリアで展示されますので、ぜひご覧ください。入場は無料です。

2つめは、1月9日、「全国小学生『わたしたちのくらしと水』かべ新聞コンテスト2017」で、応募総数5,022作品の中から、三国小学校4年の河室芽依さん、山下稜太さん、中岡二葉さんが入賞しました。また、学校奨励賞として、三国小学校が選ばれ、表彰を受けました。



▲山下優希さん



▲学校賞を受け取る児童代表

ソフトテニス全国大会へ！

2.7
wed



テニスクラブ「大刀洗ジュニア」に所属する小郡小学校4年の高島向日葵さんが、福岡県ソフトテニス全国大会予選（小学4年生以下の部）で優勝を果たし、3月29日（木）から千葉県で行われる全国大会に出場することを市長に報告しました。

経験者のお母さんとソフトテニスを楽しむ中、その魅力にめり込み本格的なレッスンを開始した高島さん。ダブルスの前衛として、相手の隙を突くシートボールを武器にした選手に成長しました。現在は全国大会に向け練習に励む毎日だそう。「全国大会では精一杯声を出して、相手にプレッシャーをかけながら、ペアと協力して優勝を狙いたい！」と、小学生とは思えぬ頼もしい宣言を受け、市長も力強い声援を送りました。

第5回『小郡ジュニア歴史博士』決定

1.6
sat

『小郡ジュニア歴史博士』は、市内在住の小・中学生に市や周辺の歴史・民俗を研究してもらうコンテストで、子どもたちの歴史学習への関心と意欲を高め、郷土への愛着を深めることを目的として平成25年度から始まりました。

今年は、市内8小学校242点の中から大賞1点、優秀賞3点、佳作6点、奨励賞15点が選ばれ、埋蔵文化財調査センターで表彰式が行われました。

また、第2回『小郡ふるさと歴史検定』合格者16人へ「第2期つっこ学芸員認定証」と「合格証明カード」の交付式も併せて行われました。

第5回『小郡ジュニア歴史博士』表彰者（敬称略）

- 大賞 濱崎ななみさん（大原小6年）
- 優秀賞 福山光さん・福山翼さん（小郡小6年）
- 篠原美南さん（立石小6年）
- 進村夏美さん（三国小4年）



のぞみが丘小学校PTAが 全国表彰を受けました

1.10
wed

のぞみが丘小学校PTAが、日本PTA全国協議会の会長表彰を受けました。

同PTAは、平成11年にのぞみが丘小学校が開校して以来、新興住宅地にある学校として転入者が多い中、PTA活動を通して保護者同士のつながり、地域づくりを担ってきました。

今回、特に評価されたのは、PTA親父の会(おやじの会)の活動。「子どもたちにふるさとの思い出を」とあえて学校に泊まってキャンプをする「学校キャンプ」や餅つき大会、親子イベントなどの精力的な活動が、受賞の決め手となりました。



ジャズにうっとり バレンタイン♡

2.14
wed

「バレンタインも #イルミD Eいいこと」と題して、西鉄小郡駅前がイルミネーションで彩られ、ジャズライブが開催されました。

ライブでは、菅原花月さん(ヴォーカル)とpepe伊藤さん(ギター)が“L-O-V-E”などをセッション。観客はうっとりと聴き入っていました。

ほかにも、バレンタインデーにちなんだお菓子のプレゼントや、周辺の飲食店とタイアップしたお得なサービスなども行われ、恋人の聖地小郡ならではの特別な夜になりました。

三井高校家庭クラブ委員会 全国大会へ！

2.1
thu

三井高校の家庭クラブ委員会が、学校・家庭・地域で連携した防災について調査研究し、全国家庭クラブ連盟研究発表大会の県大会で最優秀賞を受賞、全国大会へ出場します。

研究の契機は平成28年に発生した熊本地震。災害を身近に経験し、災害時の行動や備えについて考えるきっかけとなったそうです。

研究内容は、地域と協力した防災への備え。校内アンケート調査や三井消防署での防災講義のほか、平岡栄養士専門学校と連携した非常食の研究、九州北部豪雨災害への支援活動、地域の人との非常食の料理講習会など、学内を越えてさまざまな機関と連携し、研究と実践、普及活動を行いました。

今回の訪問にあたり、市長の前で同様の発表を行ってもらいました。発表を聞き、市長は「いろいろな人の知恵を集めて課題を解決していくことは、まさに今、市が取り組んでいるもの。今後、ぜひ市とも連携して防災に関する取組を行っていただきたい」と話しました。



◆熊本地震のときに、「小さな筆談ボードが避難所で役に立った」という話を聞き作成。市役所に提供いただいたほか、市内企業へも提供したそうです。